

「東京医科歯科大学献体の会」会員ならびにご関係の皆さまへ

臨床解剖学分野では、以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

研究課題名：頰椎椎間孔領域における頰神経と周囲構造に関する解剖学的研究

東京医科歯科大学医学部倫理委員会承認番号：M2019-208

研究期間：医学部倫理審査委員会承認後から 2021 年 3 月 31 日まで

研究目的：

頰部（首）には脊髄から続く上肢（腕）の機能を司る頰神経が存在しています。頰部の骨である頰椎の近くに、頰神経を支えて正常な位置に保つことで神経が損傷しないように防御するような役割をしている可能性がある新しい靭帯が見つかりました。

しかし詳細な検討がされていないためどのような役割を果たしているかは明らかではなく、頰部の加齢とともに起こる疼痛をはじめとする神経症状の原因、その根本的な治療方法は確立されていません。そこにこの靭帯が関係している可能性があるかもしれません。

本研究の目的は、その関係性を明らかにするため頰部の神経とその周囲の構造物（主に骨や頰部の関節）との関係性を明らかにすることです。

研究の対象：

本研究で用いる解剖体は、すべて生前に「東京医科歯科大学献体の会」に入会された方のご遺体です。その尊いご遺志に深く感謝するとともに、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法の精神を遵守して行っております。また、研究の実施に当たっては、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」および日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に従って行います。

研究の内容：

本学臨床解剖学講座にて保存されている解剖体を用いて、頸部の神経とその周囲を取り囲む靭帯を観察します。また周辺の骨、関節との位置関係を明らかにします。一つ一つの構造を観察して分類したのち、丁寧に剥離し、さらに詳細に検証するために、切片ブロックを作成し、ヘマトキシリン・エオジン染色を行い、この組織標本を観察します。この手法によって、頸神経とその周囲の関係性を明らかにすることができます。解剖学的知見に基づいて、頸部の神経に起因する頸椎症性神経根症などの傷病の原因や治療法を検討する上での基本的な形態の更なる理解について考えていきたいと思えます。

この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を国内外の学会や論文で発表しますが、匿名化を行い解剖体の個人を特定できる情報は使用いたしません。登録解剖体の同定や照会は、登録時に発行される登録番号を用いて行います。登録にあたっては、識別番号を設定し、対応表を作成します。匿名化の後、臨床解剖学医局にて10年間厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

試料・情報の管理責任者の氏名：東京医科歯科大学大学院 運動器機能形態学講座 二村昭元

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、医学部臨床研究利益相反委員会に申告を行い、承認されています。またデータを二次的に利用する場合は新たな研究計画を立案し医学部倫理審査委員会で承認された後、改めてHP上でお知らせいたします。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見ても生じかねない状態のことを指します。

なお、本研究に関してお問い合わせのある場合、下記宛先までご連絡ください。また、研究の途中であっても、解剖体の使用あるいは得られたデータの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外します。その場合にも故人および関係者の皆様の不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究責任者：東京医科歯科大学大学院 運動器機能形態学講座 二村昭元

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5390（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情・相談窓口：

東京医科歯科大学医学部総務掛

電話：03-5803-5096（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）